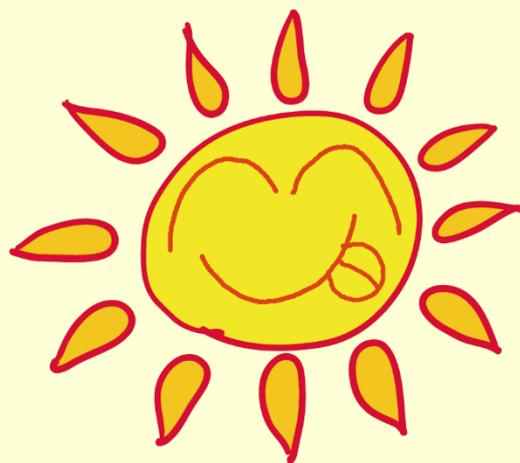


フードドライブ実施マニュアル



「もったいない食料」を「おもいやり食料」に変えましょう！
「おもいやり食料」で地域を元気に！

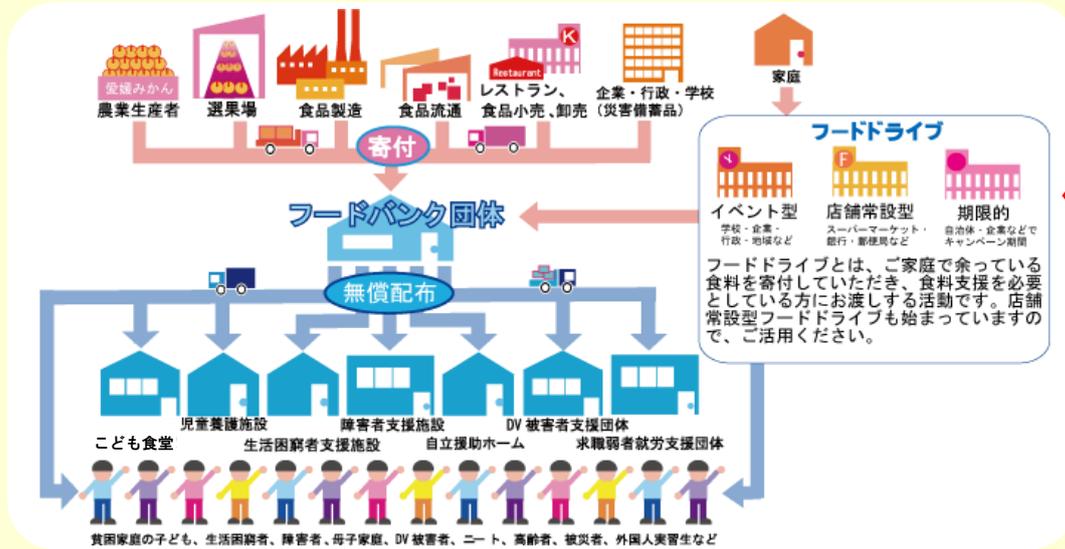


特定非営利活動法人 eワーク愛媛（えひめフードバンク愛媛）

■ フードドライブとは

フードドライブとは、下図のように、家庭で食べることができない食料を回収し、食料を必要としている団体（フードバンク、こども食堂、生活困窮者支援団体、福祉施設等）に寄付して活用してもらう活動のことです。

※フードドライブで扱う食料は家庭で発生する未利用食料ですので、一般企業や自治体など、多量の未利用食料が発生する場合は、直接、当フードバンクに寄付するようお願いしています。

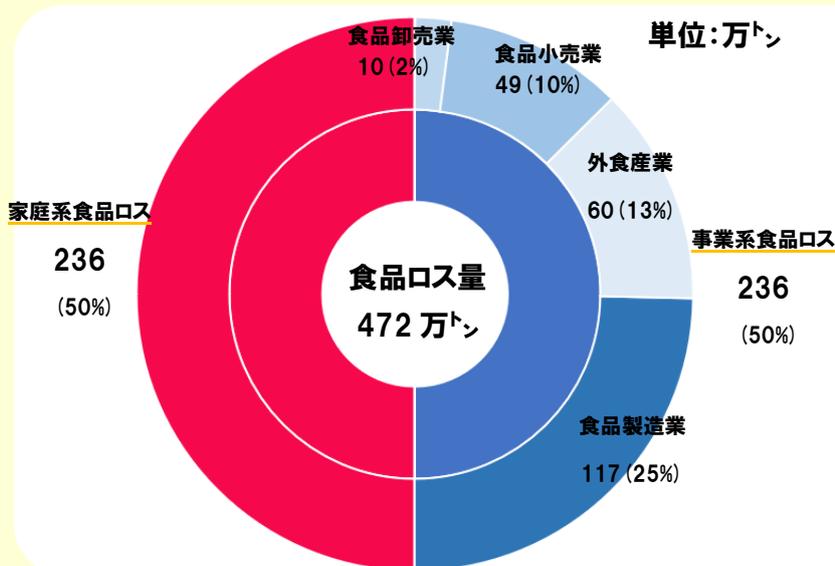


■ フードドライブが必要な理由

■ 食品ロス発生状況

◆ 国内の食品ロスの状況

国内で1年間に発生する食品ロス（食べることができず廃棄されている食料）は472万トンあります（農林水産省令和4年度推計）。この量は、東京ドーム約4個分であり飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料支援量（年間約480万トン/2022年）とほぼ同じ量に相当します。



国民1人当たり食品ロス量

1日約103g
※茶碗約1杯のご飯の量に近い量

年間約38kg

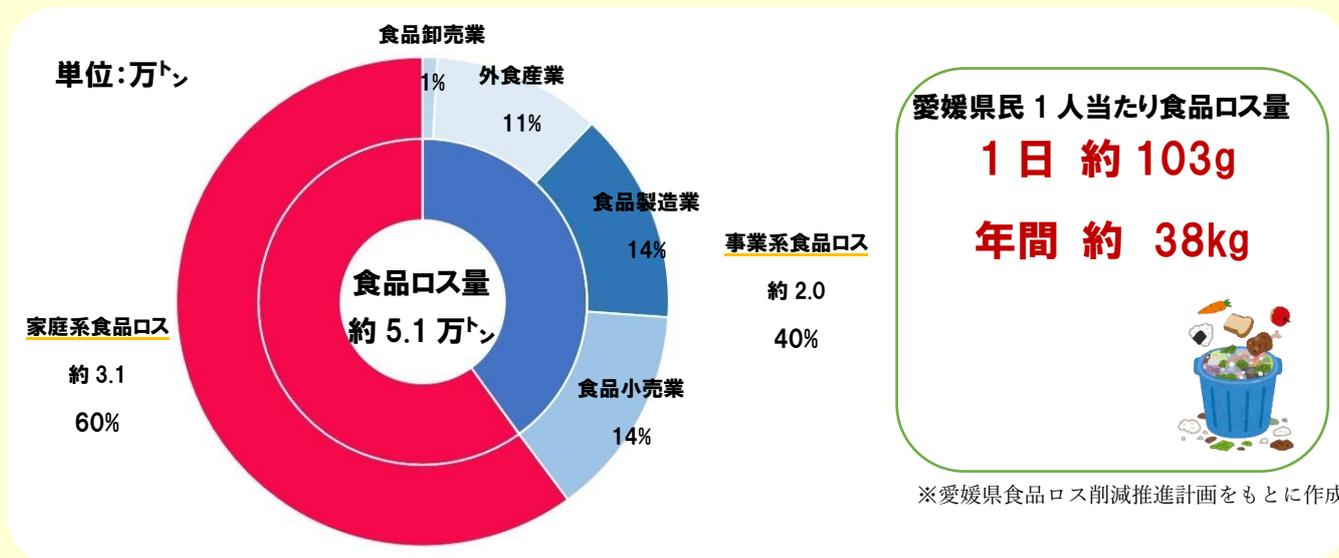
資料：総務省人口推計（2022年10月1日）
令和4年度食品需給表（確定値）
※農林水産省ホームページをもとに作成

また、円グラフのとおり、食品ロスの内訳は、食品事業者からの発生量が236万トン、家庭からの発生量が236万トンとなっており、事業系と家庭系の食品ロスは同じ量となっています。

◆ 愛媛県内の食品ロスの状況

愛媛県内で発生する食品ロスの量は、年間約 5.1 万トンと推計されています（愛媛県令和 2 年度推計値）。

内訳は、事業系食品ロスが約 2 万トン、家庭系食品ロスが約 3.1 万トンとなっており、家庭系の食品ロスの量が事業系を上回っています。



◆ 家庭で発生する食品ロスの削減

前述のとおり、食品ロス量の約半分を占めているのが家庭から発生する食品ロスです。

家庭で発生する食品ロスには様々な要因がありますが、それを削減するには私たち消費者一人一人の心がけが大切です。しかしながら、お中元でもらったお素麺や缶詰など、どうしても家庭で食べきれなかったり、アレルギーや体調などの事情があって食べられない食料がある場合に活用できるのがフードドライブです。

フードドライブは、家庭で発生する食品ロスを削減する仕組みとしての機能だけではなく、消費者の皆様に食料の「もったいない」という気持ちや食品ロス削減の大切さを知っていただく効果、地域の福祉活動やこども食堂との連携により、地域再生や地域共生を進める効果もあります。

フードドライブの場所が広がることで、「食品ロス削減」の取組みを目にする機会が増え、意識の向上につながります。これは、家庭の食品ロスが削減される効果だけではなく、飲食店での食べ残し削減や「てまえどり」による小売店での食品ロス削減等、事業系の食品ロス削減にもつながると考えています。

■ フードドライブの種類

■ 常設型フードドライブ

スーパーマーケットや銀行、温泉、学習塾、福祉施設、一般企業（社員食堂や事務所）等にフードドライブ用の食料回収ボックスを常時設置し、定期的または、ボックスがいっぱいになれば引き取って活用する取り組みです。

令和 7 年 1 月現在、愛媛県内では 170 ヶ所以上で常設型フードドライブが行われています。

（愛媛県ホームページ <https://www.pref.ehime.jp/page/9741.html>）



◆ 愛媛県内での「フードドライブ常設コーナー」の設置場所

愛媛県では、以下のホームページにて常設型フードドライブの設置場所について紹介しています。

愛媛県 県民環境部 環境局 循環型社会推進課

「食品が余ってしまったら、「フードドライブ常設コーナー」を活用しましょう！」

<https://www.pref.ehime.jp/page/9741.html>



愛媛県ホームページより

二次元コード

※このサイトで紹介している設置場所には、えひめフードバンク愛顔が取りまとめを行っていない店舗も含まれます。

えひめフードバンク愛顔では令和7年1月現在113ヶ所の店舗、団体と提携しています。

■ イベント型フードドライブ

地域で開催するイベントや学園祭、自治体が実施するイベント等にフードドライブコーナーを設置する取り組みです。

イベントの実施内容にもよりますが、開催期間中に食料を回収します。



■ キャンペーン型フードドライブ

自治体や企業、学校等がキャンペーン期間を設け、その期間、フードドライブコーナーを施設内に設置して食料回収する取り組みです。

スーパーマーケットや金融機関等、来場するお客様も参加できるタイプの取り組みと、職員や従業員等の関係者だけを対象に取り組む方法があります。

■ フードドライブでの取り扱い食料

■ フードドライブにご寄付いただきたい食料

- ★ 穀類（米、小麦粉など）
- ★ 保存食品（缶詰、瓶詰など）
- ★ 乾物（海苔、豆など）
- ★ 菓子類、離乳食、ミルク
- ★ 飲料（PET 飲料、保存水など）
- ★ インスタント食品、レトルト食品
- ★ 調味料、食用油
- ★ ギフトパック（お歳暮、お中元）



ご寄付いただいた食料は、えひめフードバンク愛顔の連携団体であるこども食堂、福祉施設、社会福祉協議会等を通じて、食料支援を必要としている個人や団体にお届けします。なお、お届け先（名称・場所）などの情報公開はいたしません。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

■ フードドライブで扱う食料の条件

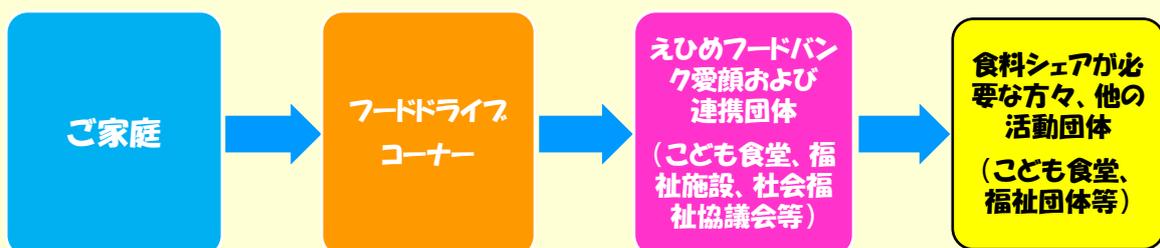
以下の全ての項目を満たしているものがフードドライブの対象となりますので、ご注意ください。

- ★ 賞味期限が明記され、期限が1ヶ月以上あるもの
 - ★ 未開封のもの（包装が破損していないもの）
 - ★ 常温保存可能なもの（冷凍、冷蔵、生鮮食品は対象外）
 - ★ 製造者または販売者表示のあるもの
 - ★ 成分またはアレルギー表示のあるもの
 - ★ 米は上記に限りませんが、白米の場合は精米日、玄米の場合は収穫年を明記してください。
- ※ 手作り品（クッキー、味噌、漬物等）は対象外です。
※ これらを満たさない場合や食料の状態によっては、お持ち帰りいただくことがあります。



企業様からの食料寄付や、ご家庭でも量が多い場合には、えひめフードバンク愛顔に直接ご連絡ください。

■ フードドライブを活用した食料シェアのフロー



■ フードドライブコーナー設置・食料引取り手順

■ 準備物（例）

- ① フードドライブボックス（食料回収用ケース）
- ② フードドライブ依頼掲示物（ポスター類）
- ③ フードドライブ掲示物（POP 類）
- ④ フードドライブ注意書き（回収不可能品、持ち帰り禁止等の注意書き）
- ⑤ のぼり旗セット（のぼり旗、ポール、アンカー）
- ⑥ 食料寄付者に対するお礼・食料活用事例掲示用看板
- ⑦ ボックス設置用テーブル類 等

■ 設置例



■ 食料引取り方法

① 食料引取り頻度

食料引取り頻度は、フードドライブコーナー設置場所（店舗等）の状況によって変わります。設置場所により食料回収量に違いがありますので、フードドライブコーナー設置直後は状況を観察し、引取り頻度を引取り団体、設置店舗間の協議により決定してください。

なお、ご寄付いただく食料は賞味期限が 1 ヶ月以上のものとしており、引取り団体は賞味期限が切れる前に引取る必要がありますので、少なくとも 2 週間に 1 回の引取りをお願いしています。

② 引取り団体の明示

引取り団体には、引取り時にフードドライブ食料の引取り団体であることが分かるよう、名札の着用をお願いしています。

店舗のお客様より「関係者外の人が持ち去っている可能性がある」という指摘があり、また実際に引取り団体外の来場者が持ち去る事例があったためです。



引取り団体用名札の例

③ 引取り時の声掛け

食料引取り時には、店舗のサービスカウンターご担当者や設置箇所のスタッフに食料の引取りに来た旨、伝えていきます。一部の店舗では、引取り時に受領書に捺印をしています。

フードドライブに関するお問合せ先

特定非営利活動法人 e ワーク愛媛（えひめフードバンク愛媛）

本部事務所 〒792-0050

愛媛県新居浜市萩生 1309-1

TEL : 0897-47-4307 FAX : 0897-40-6648

URL <https://eworkehime.kojyuro.com/>



※特定非営利活動法人 e ワーク愛媛は、愛媛県が実施する地域循環型フードバンク支援事業を受託しています。